

第15回泊地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日 時

平成29年12月8日（金） 11:00～11:30

2. 場 所

テレビ会議

3. 参加機関

：内閣府、北海道、北海道警察、岩内・寿都地方消防組合消防本部、北後志消防組合消防本部、海上保安庁、防衛省、原子力規制庁、経済産業省、北海道開発局

オブザーバー：泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、余市町、赤井川村、北海道電力(株)

4. 議 題

- (1) 「泊地域の緊急時対応」の充実化について
- (2) 平成29年度北海道原子力防災訓練について

5. 概 要

(1) 「泊地域の緊急時対応」の充実化について

内閣府から、泊地域の緊急時対応の主な改定項目について、以下のとおり説明を行い、参加機関からの了解が概ね得られた。

○津波との複合災害時における防護措置の明確化

津波警報等の発表時には津波に対する避難行動を優先することについて

○自然災害等により家屋にて屋内退避ができない住民等の対応策の具体化

地震により家屋の倒壊等により、屋内退避が困難な場合の対応策の具体化について

○バス避難時における避難誘導の円滑化

施設敷地緊急事態で避難する際のバス順路の明確化について

○住民を安全かつ円滑に避難させるための情報共有

避難状況把握・渋滞監査対策の強化について

○UPZ 内における福祉車両の確保

UPZ 内の一時移転等の際の福祉車両数の整理について

○緊急時モニタリング体制の強化

電子線量計 9 基の追加整備について

○原子力災害時における医療体制の連携・強化

原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関の指定等による医療体制の連携・強化について

○安定ヨウ素剤の配備等の充実化

乳幼児向けゼリー状安定ヨウ素剤の備蓄及び配布並びに国による安定ヨウ素剤の備蓄について

○放射線防護施設の整備

放射線防護施設として新たに 2 施設整備することについて

○原子力事業者による生活物資の支援体制の具体化

北海道電力による放射線防護施設への生活物資の支援体制の具体化について

(2) 平成 29 年度北海道原子力防災訓練について

北海道から、平成 29 年度北海道原子力防災訓練について以下のとおり説明を行った。

○原子力災害対策指針で定められた避難の判断基準 (EAL、OIL) に基づく、段階的な住民避難を円滑に行うための訓練について

○平成 28 年度原子力総合防災訓練の検証結果等を踏まえて改定を検討している泊地域の緊急時対応の実効性を確認するための訓練について

以 上